

# 広 報 特 別 委 員 会

日 時 平成30年10月19日（金）  
午後1時30分  
場 所 第1委員会室、議会会議室1

## 付議事項

- 1 市議会モニターからの意見について
- 2 議会だより第52号の校正について
- 3 その他

モニターからの意見	対応
<p>早速、以下の意見を述べます。</p> <p>1. 市議会広聴委員会と議会モニターとの委嘱状交付及び意見交換会</p> <p>(1) 委嘱状交付は正規の議会活動だと言われたが、意見交換会も含めてなぜ公開になっていないのか尋ねたが、委員長は「よく分からない」と言われた。このような正規の会議の位置づけと取り扱いは明確にすべきではありませんか？</p> <p>(2) この委嘱状交付の前に開かれた広聴委員会協議会に関して、私はなぜ「委員会協議会」なのか聞きましたが、委員長は「議会モニターの人事に関わることだから」と答弁されました。「委員会協議会」に関する位置づけや役割は明確なののでしょうか？ 時として傍聴する議員でさえも排除され、委員会内の議員だけの自由討論のような形がとられています。正規の会議とは言えません。「人事に関すること」で非公開で議論しなければならないのであれば（そうだとすると非公開は疑問ですが）「秘密会」の手続きを取るべきではありませんか。</p> <p>(3) 意見交換会といわれたのに、ほとんどの議員からは何の意見も質問も出されず、委員長からは「よく分からない」との発言がされました。突飛な質問というより、基本的な問題での質問が多かったのに、低調な意見交換会になったのはなぜでしょうか。</p> <p>2. 議会広報紙「The 市議会 Vol.50」について</p> <p>(1) 議会広報紙は「誰のために、何のために」発行されているのかよく分かりません。「議会には発行する責任があるから」ですか？</p> <p>(2) 広報紙を編集するための技術面での問題意識が薄いように思います。</p> <p>ア. 企画性    イ. 見出しの字体とつけ方    ウ. レイアウト    エ. 写真やカットの内容と配置など、取り敢えずこの4点でもキチンと編集技術を勉強していただきたいと思えます。一般に発行されている雑誌等はぜひ参考にさせていただきたい。</p>	<p>対応</p> <p>広報特別委員会</p>

モニターからの意見	対応
<p>1. 議会広報紙「The 市議会 Vol. 51」について</p> <p>「The 市議会 Vol. 51」が届きましたので意見を述べます。</p> <p>私は先般の「モニターからの意見(1)」で議会広報編集にかかわって4点について指摘しましたが、「The 市議会 Vol. 51」は改めて改善の必要性を強く感じました。</p> <p>(1) 広報紙に対して読者が一番興味を持つページは、表紙に続く2、3ページの見開きの内容です。広報紙の「企画性」が一番問われているページですが、委員会はこのページの重要性と位置づけをどのように考えているのでしょうか。議会広報紙の表紙は斬新になりましたが、続いて開いたページに幻滅を感じ、それ以上のページを「読んでみよう」という意欲が湧かないと思います。</p>	<p>見開きページに対する考え方は、指摘の通り議会だよりのその後の記事へ導く、重要な役割があると考えていました。しかしながら、6月議会の内容を検討し、どのように編集するかを議論しましたが、意見が一致せず見開きページを作成するに至りませんでした。</p> <p>委員会で協議した際に、委員から</p> <p>「こなすだけになっていた。モニターからの指摘通り、市民の目線で改めて考えなくてはいけない」</p> <p>「市民にいい記事を届けるといふ視点が不足し、力足らずであった。」</p> <p>「市民に何を見て貰うかをもっと努力する必要がある。」</p> <p>などの意見が出され、今後は委</p>

モニターからの意見	対応
<p>(2) 少なくとも議会だよりは「市民と議会を結ぶ情報紙」であり、「市民のためにどれだけ開かれた議会活動に努力しているか」をお知らせする折角のチャンスでもあります。そのための「企画」であり、編集の「センス」も要求されます。なぜ議案審査中心の「議会活動」しか載せないのでしょうか。例えば7、8月には「議会カフェ」が開かれました。新しい形式の「議会報告会」を市民に紹介し、興味を持ってもらえるいいチャンスにする考えはなかったのでしょうか。</p> <p>(3) 最初の見開きページをどのような「企画ページ」にするのかは、編集のセンスが問われ一番の力量のいるページでもあります。例えば私がこの見開きページを「市民参加のページ」と位置づけるとすれば、先ほどの「議会カフェ」や「議会改革度ランキングアップの意味」「市議会モニター2期目スタート」あるいは「相次ぐ他市議会の行政視察」とか、広聴委員会とも提携して市民参加の新たな企画を次々と立てる必要があります。当然、ページ全体のレイアウトや見出しの立て方、写真など編集技術が問われるコーナーでもあります。</p> <p>(4) 広報紙全体の「企画力」の問題もあります。前段の企画ページだけでなく様々な新企画コーナーが必要です。例えば市民との関わりでは「請願や陳情書の書き方、出し方」「障害者用の傍聴席」「ここが違う傍聴者への資料配布」「ユーチューブでの委員会公開」「政務活動費の公開」など市民に積極的に議会活動の変化をアピールする「議会アラカルト」や「市議会探検隊」コーナーなど、市民が市議会に興味と新鮮味を感じてもらえる企画が必要ではありませんか。</p> <p>(5) 「The 市議会 Vol. 51」で特に目についたこと  ア. 「委員会レポート」もそろそろ改善と工夫がいきませんか。</p>	<p>員間でよく話し合い、見開きページに力を入れていくように致します。</p> <p>ご指摘を受け早速 No. 52 において、議会カフェの特集ページを掲載します。</p> <p>編集技術の向上に努め、市民の関心を引くような企画を検討していきます。</p> <p>ご指摘の様々な市民と議会を結ぶ記事の編集に心がけます。</p> <p>委員会レポートのついて工夫をします。</p>

モニターからの意見	対応
<p>イ. 会派の「視察報告」もあまり意味のあるものとは思えません。せっかく税金を使った視察なのに、市民には何のことかほとんど理解できません。会派の皆さんもこの程度の内容の視察だと市民から受け取られるのは不本意だと思いますが…。</p> <p>ウ. 議案賛否の一覧表も単なる「資料的な意味」しかありませんが、逆に市民から見れば大いに勘違いする一覧表でもあるのです。「賛否の分かれた議案だけ掲載」なのですが、そんな説明よりも一覧表の方が説得力があり、市民には「議会に提案された議案すべて」と思われがちです。少なくとも誤解を与えない工夫が必要で、見出しも「議案に対する議員の賛否状況」ではなく「賛否の分かれた議案です」などに変えてはどうでしょうか。</p> <p>2. 広報委員会の編集技術の向上について          広報委員会メンバーの編集技術の向上は避けて通れません。</p> <p>ア. 少なくとも広報委員長は「レイアウト用紙」による編集と、明確な編集方針を持つ必要があります。</p> <p>イ. 広報委員会で先進地視察や広報編集の基本的な技術を勉強する必要があります。</p> <p>ウ. 可能であれば県議長会に要請して、毎年開かれる「議員研修会」で「議会広報紙」に関する編集技術や編集のイロハなどを教えてもらえる講師の要請や県内「議会だより」のコンクール表彰を行うことを、当市議会が率先して提案してはどうでしょうか。</p>	<p>ページ数との関係もありますが、今後の視察報告の仕方について検討をしていきます。</p> <p>議案の賛否について、ご指摘のように「賛否の分かれた議案」とします。</p> <p>No.52 から、早速レイアウトを示して編集をすすめています。</p> <p>全国的に著名な方に来ていただいて、議会だよりの編集について学習会を検討しています。</p> <p>県議長会に対しては、議長を通じて提案をして貰うように要請します。</p>